

# I. 外国語の実践的な力をつけるために

グローバル化が進展する現代にあって、外国語の能力は、社会全般にわたってその必要性が増してきていることを、皆さんもさまざまな機会に実感しているところでしょう。外国語の日常的な使用の範囲は格段に広がってきています。今や、外国語の実践的な力の有無が皆さんの将来を決めるうえでの主要なポイントの一つであるといっても過言ではありません。

「学部間共通外国語」は、各学部設置されている外国語科目を補完しつつ、さらにより多面的な語学能力を向上させるために、主にネイティブスピーカーの教員が担当する「会話」を中心とした科目や、学部では設置されていない外国語（たとえば古典ギリシア語、ラテン語、アラビア語など）の学習の機会を提供しています。学内では、MLP (Meiji Language Program) という通称でも親しまれています。

近年は海外の交流校（海外協定校）の数も300校以上となり、海外留学の機会がますます増えてきています。海外の大学で学ぶことを目指す人達を支援するための講座として「国際理解講座（ドイツ語圏・フランス語圏・中国語圏）」や「Intercultural Communication (English)」などを開講しています。これらは実際にその外国語を使いながら留学をシミュレーション体験して、異文化理解を深め、総合的なスキルアップを狙いとするものです。

また、TOEFL<sup>®</sup>、TOEIC<sup>®</sup>、その他各種の語学検定資格を目指している方のために、それを目的とした「資格」対応のクラスも設置しています。夏と春には集中講座が開かれ、英語については、例年3月に清里セミナーハウスでの合宿講座を開講しています。さらに、協定校及び協力校であるヨーク大学、シェフィールド大学、マクマスター大学での語学研修を受ける制度も整っています。

2014年度からは一部の科目で名称変更をするなどして、内容も一層改善・充実させました。今後もより高度な「国際的感覚」を身に付けるための科目を提供していきます。

以上のような多様なメニューが用意されている「学部間共通外国語」ですが、学部での単位認定については、卒業要件としての認定を含め、それぞれの学部によって違いがあります。詳しくは所属学部の便覧・シラバスを参照し、学部の事務室に問い合わせるようにしてください。

外国語学習はもっとも身近な異文化体験です。外国語のスキルがあがればあがるほど、世界が広がっていくことを実感できるでしょう。そのような経験をすることによって、皆さんは自分自身の力に自信が湧き、人間的にも一層豊かになっていくのです。是非チャレンジしてください。

2019年4月  
学部間共通外国語教育運営委員会